

ブランシャール明日香 その他の一般質問

●熱中症とエネルギー貧困について

猛暑が予想されている夏が目前。エネルギー貧困問題を通じ、気候変動時代の超高齢化社会におけるケア現場の方々の実情を指摘。そして、地域社会が包括してケアできる、岸本区政が掲げる「ケアする人をケアする」仕組みづくり、コミュニティづくりの重要性について質問しました。

●学校教室の温度測定について

昨年の一般質問で実現することとなった9教室の天井断熱改修の結果を可視化する室温測定について質問。断熱の効果を行政、学校、保護者と共有し、環境教育にも寄与する断熱改修ワークショップを開催し、アンケート実施を提案。

「住まいと学校の断熱事情の最前線、夏は教室が危ない！」



議案等の審議結果

区長から提出された19の議案のうち、ブランシャールは「議案第41号 杉並区立保育所及び小規模保育事業所条例の一部を改正する条例」、及び「第56号 杉並区教育委員会委員の任命の同意について 大川康徳氏の任命に同意」に反対し、残りの議案には賛成いたしました。

「議案等の審議結果」
(議員別) PDF



明日カフェ「区政報告会」のご案内

杉並区議会報告会 & お知らせ

①区政報告会

日時：7/26(金) 19:00-21:00

場所：カフェ・カワセミピレット

杉並区善福寺1-30-9

②区政報告会 & 9月議会のお知らせ

日時：9/1(日) 16:00-18:00

場所：西荻地域区民センター

杉並区桃井4-3-2

議案や議会のごと、政策の話をご共有します。
カジュアルに政治を話せる場としてお気軽にご参加ください。

※要予約 aska.minnanomachi@gmail.com

明日Cafe

道路交通対策特別委員会

昨年度より継続!

外環道路が杉並区に到着するまであと1年余となりました。立坑からの掘削距離の履歴の可視化、凍結止水して行う横連絡坑工事の危険性について、8年前に行われたままの家屋調査の再開・徹底などについて質問しました。

SUGINAMI CITIZENS' CLIMATE ASSEMBLY 杉並区気候区民会議

みんなの未来はみんなで考える!

杉並区では今年3月から6回にわたり、気候区民会議を開催中。無作為で選ばれた区民約80人が、気候変動について共に学び、熟議を進展させ、最終的に区に対しての意見提案を提出します。ぜひ6回目(最終回)の気候区民会議を傍聴へ!!

第6回：令和6年8月3日(土曜日)

午後1時30分~4時30分 区役所本庁舎にて

行政視察レポート：仙台市 「百年の杜づくり」街路樹

7/12は、仙台市の街路樹マネジメントとみどり行政について学んできました。駅前から広がる青葉通、定禅寺通をはじめとする街路樹は圧巻!! 戦災で焼け野原となった仙台市を100年の杜にしようという先人の想いと確かな造園技術を受け継ぎ、行政と民間が一体となった街路樹の維持管理を徹底しています。2030年に向けて車線を削り歩道と自転車通路に再整備する計画も進行中。都市の中の森ならぬ「森の中の都市」仙台市。人とみどりの共生は可能だと実感できた視察でした!



4列の並木が1.4km続く定禅寺通

根の生育を考慮した植え込みの土壌づくり(青葉通)

ブランシャール明日香

2023年5月より杉並区議会議員
緑の党グリーンズジャパン所属

長崎県出身。カナダオンタリオ州立ヨーク大学
社会人類学部卒業。西荻窪にてカフェ・カワ
セミピレットを経営。

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-9

☎ 090-8487-5406 (事務局)

公式サイト▼



カワセミ通信は、再生紙で印刷しています。

ゼロカーボンのまち、杉並へ

ブランシャール明日香

杉並区議会議員 緑の党グリーンズジャパン

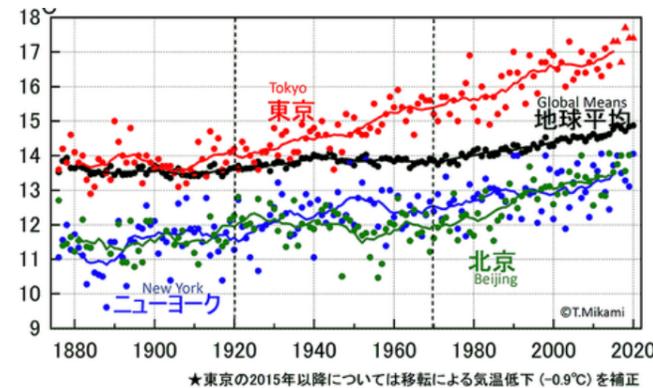
カワセミ通信

VOL.4 (2024.7.14発行)



地球沸騰化時代、7月初旬から各地で40度にも及び酷暑が続いています。気候危機と向き合うため、地方自治からボトムアップする真の社会変革が求められています。

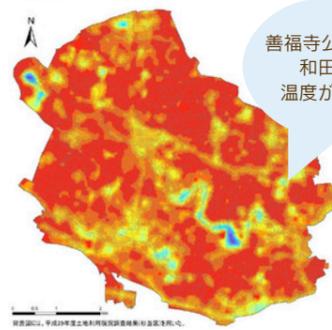
みどりを活かすことで緩和できるヒートアイランド現象や豪雨対策について「都市のみどりと共に生きる」特集▶次ページ



★東京の2015年以降については移転による気温低下(-0.9°C)を補正

「東京の温暖化は地球平均の2倍進んでいる」
1970年以降の過去50年間でみると東京の気温上昇は3.9°C
くらい。地球の平均気温の2倍の速度!

出典：グリーンピース・ジャパン (三上岳彦教授)



善福寺公園、善福寺川緑地、
和田堀公園周辺だけ
温度が下がっているね!

陳情・請願の
結果一覧



本会議の動画
(最終日)



「みどりの基本計画素案資料編」

図：人工衛星からみた杉並区(夏季)の都市熱環境
令和5年7月27日午前撮影

「対話の区政」一歩ずつ...

杉並区議会第2回定例会が6/3~6/21に開催されました。岸本聡子区長が提案した補正予算(第3号)には、障害児保育に杉並区独自支援を実施し保育士を拡充する予算など、22事業・総額5億6千万円が計上されました。新任の教育長、2人目の副区長、男女共同参画担当課長など新人事も注目されています。西荻窪、阿佐ヶ谷、高円寺地域ではまちづくりを住民が考える(仮称)デザイン会議が発足。岸本区政が掲げる「対話の区政」は着実に進展しています。

陳情の採択に対し、 最終日に各会派が大討論!

都市環境委員会に付託された陳情審査【6陳情第14号 杉並区での公有地でのAV撮影の禁止を求める陳情】は、本会議の最終日に多くの討論が行われました。ブランシャール明日香は陳情に対して「不採択」の立場を表明。最終日の討論の場には、不採択に「反対」の会派代表が2名、「賛成」の会派代表が5名壇上に立ち、それぞれの意見を主張しました。

議員17名が要望書を提出

都市環境委員会の当日、突然配布された補足資料は内容的に議会でも波紋を呼びました。議会後、この件について有志の議員が「配布された資料がハラスメントにあたることを指摘し、再発防止を求める要望書」を議長宛に提出しました。



徹底Q&A

特集：都市でみどりと共に生きる



みどり（植物、土壌、水、微生物、生態系サービス）はヒートアイランド対策や洪水対策になることがわかっています。減りゆくみどりを守るだけでなく、そこから何を学び、どう活用し、どんな未来の暮らしを選ぶのかを、真剣に考える分岐点に立っています。環境保護の側面だけでなく、みどりのもつ社会的、インフラ的な機能、健康や幸せ（ウェルビーイング）への効果に注目して議会で質問しました。

一般質問の動画
(令和6年6月5日)



みどりの基本計画にてこれを

Q. 人口減少時代、土地の持ち主と行政と地域住民が共に考え、協働意識を持ち合わせた支援が必要では？

A. 屋敷林の存亡を所有者任せにしない。区民等との共同でみどりの保全が地域へ拡散するよう、屋敷林公開イベントなどを通じて地域住民へPRしている。

Q. 気候危機時代の新しい価値観を打ち出し、みどりを含む環境問題の解決に向けて果敢に挑戦していく必要性について問う。

A. オープンデータ化や区内事業者支援など、新たな発想や価値観を持つ気候危機対策を全庁的に推進し、**区民参加によるゼロカーボンシティの実現を目指す。**



Q. 今年度10年ぶりに改訂される「みどりの基本計画」の基本理念は？

A. 区民一人一人がみどりの保全、創出を自分ごととして捉えることができる計画となること。



グリーンインフラ（GI）で、治水対策を！

Q. グリーンインフラとは？

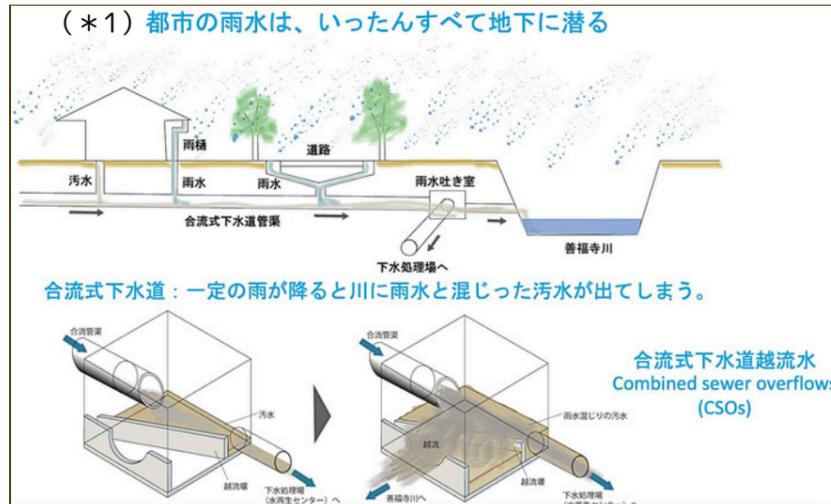
A. GIとは自然環境が持つ多様な機能に着目し、それを都市基盤として活用する考え方。洪水流出抑制対策や水質改善、景観向上、生物多様性の保持、健康の増進などの多様な目的を有する。

Q. 水問題の課題としてCSO（合流式下水道の雨天時越流水）（*1）による水質悪化の問題があるが、GIはこういった水質改善や水辺の環境改善にも寄与できるか。

A. GIは、雨天時に河川へ下水が流れ込む事を防ぐ効果もあるので、河川の水質改善や水辺の環境改善にもつながる。

Q. 雨水浸透ますや浸透トレンチ、透水性舗装は人工的な装備（砂利やプラスチック、コンクリートなど）を使っているが、それは「GI」にあたるのか。

A. コンクリートや塩化ビニールなどで出来た工業製品を使用して、雨水を地中に誘導し、浸透させる仕組みとしており、自然環境の持つ機能を活用した**グリーンインフラの考え方とは異なると捉えている。**



雨庭ってなあに？



Q. 雨庭とは？

A. 降った雨水を直接下水道へ流すのではなく、地中へ貯留浸透させる構造を持った植栽地などの空間のこと。（庭やベランダのプランターでもOK）



杉並区の戸建て住宅地にある雨庭の例

Q. 公園などの植栽部分を雨庭化することは可能か。

A. 可能。人が集まり、人目に付くところなどを調査し、効果的な場所への整備を検討する。

「各家庭でできる水害対策“雨庭”とは」



Q. 雨庭は自然界にあるものを長期間使用することで雨庭で生物が息つき、土壌の質が向上し浸透能力が上昇するなど、学びの楽しさがある。子どもたちも学べる機会を！

A. 今後、イベントやワークショップの取組など、子どもたちの参加も積極的に呼びかける。

イベント開催のお知らせ▶

7月21日（日）9:30~12:00
みんなで「知ろう」グリーンインフラ
会場：井荻小学校



都会を森に

Q. 行政が踏み入れられない民間地や商業用地、例えばJRなど企業と協働でみどりを守るという取り組みについて検討を！

A. 杉並区として、事業者の社会的な責任という観点からも、機会を捉えて、区内事業者に緑化の取り組みの推進を積極的に働きかける。



Q. みどりのもたらす**冷却効果や雨水吸収度、樹冠被覆率**(*2)などを数値化し、経済的効果をオープンデータソース化する、みどり×DXの取組を導入してはどうか。（例：NY Tree Map, i-Tree (*3) など）

A. 他自治体や大学等における取組等を参考にどのような取組みが効果的かを考えていく。

Big News!

杉並区、グリーンインフラを活用した流域治水の取組の推進について専門家との連携協定を締結！

5/20、杉並区は「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点チーム（プロジェクトリーダー島谷幸宏 熊本県立大学特別教授）とパートナーシップを結びました。日本最先端の研究や推進、住民との新たなコミュニティの形成などに取り組んでいる強力な専門家チームとともにグリーンインフラを取り組んだ流域治水の取組がスタートします。

用語解説

▶ **樹冠被覆率** (*2)
ある土地の面積に対して枝や葉が茂っている部分の割合のこと。樹木の日傘として、強い陽射しを遮り冷却効果があるほか、水質改善、電力削減、景観向上などの効果がある。

▶ **i-Tree** (*3)
米国フォレストサービスが開発し無償で提供する、樹木による生態系サービスの定量的評価を行うためのコンピュータプログラム。都市部での樹木総本数、樹木被覆率、大気汚染物質除去量などの推定実績がある。



覗いてみて！

街中の樹木の情報が
地図上で見れる
NY Tree Map!

